

『原発事故から10年』

放射能の今と、この国の行方』

10月11日(日)

時間◆13:30～15:30

場所◆米沢市 伝国の杜置賜文化ホール

(米沢市丸の内1丁目2-1 / TEL.0238-26-2666)

入場無料《予約制 先着200名》

※参加希望者は下記に申し込んでください。

講師

小出裕章さん

福島第一原発事故から、10年が経とうとしています。全国には未だ、4万人近くの方が苦しい避難生活を続けていますが、安倍政権は「もはや安全だ」と避難者の帰還を進めています。福島県内の子ども甲状腺がん患者が異常に増えていますが、政府はその原因を放射能だと認めようとしません。第一原発から出される汚染水は、来年にはタンク一杯になるため、自然界に放出されようとしています。それでも、安倍政権は原発の再稼働や核燃サイクルの推進を行おうとしています。

この国は、どこに行こうとしているのか、私たちはどうすべきか。原子力研究と脱原発運動の第1人者である小出裕章さんにお聞きます。

《新型コロナウイルス感染防止対策》

会場内のマスクの着用・体温チェック・座席の間隔を広く取ります。当日、熱のある方、体調がすぐれない方はご遠慮ください。感染拡大状況によっては、中止となる場合があります。その場合、米沢地区勤労者福祉協会ホームページでご確認できます。(http://y-kinro.org/)



講師 小出裕章さん プロフィール

1949年東京生まれ。元京都大学大原原子力実験所助教。原子物理学者。原子力の危険性に気づき、伊方原発裁判・人形峠のウラン残土問題・JCO 臨界事故などで、放射能の被害を受ける住人の立場に立ち、原子力専門家の立場からその危険性を訴え続けている。著書に「隠される原子力核の真実」(創史社)「放射能汚染の現実を超えて」(河出書房新書)「原発のウソ」(扶桑社)など多数

お申込み
お問合せ

一般社団法人 米沢地区勤労者福祉協会 米沢市塩井町塩野 1-1

電話▶0238-21-5250 FAX▶0238-21-0144 メール▶kinro-01@dream.ocn.ne.jp

主催：原水爆禁止米沢地区実行委員会 共催：一般社団法人米沢地区勤労者福祉協会

参加希望者は電話・メールでお名前・住所・電話をお伝えください。Faxの方は下記をお送りください。また当日は下記に記入し受付にお出してください。

ふりがな	住所	受付番号
お名前	電話	